

令和6年度 学校経営計画書（案）

学校番号	21	学 校 名	沼津工業高等学校 (定時制)	校 長 名	鈴木 広隆
------	----	-------	-------------------	-------	-------

1 スクール・ミッション

静岡県東部地区の夜間定時制工業教育の拠点校として、多様な生徒たちに寄り添うために、企業・地域・高等教育機関等との連携教育やICT活用教育などの個別最適化を目指した魅力ある授業づくりを通して、地域社会に貢献できる有徳のエンジニアの育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
○自己管理能力を育成する ⇒ 基本的な生活習慣を確立し、健康と安全を意識して自己管理することができる	○魅力ある授業づくりを通し、学習内容の確実な定着を図る ⇒ 規律ある授業を展開する	○基本的な生活習慣が確立している生徒 ⇒ 自主的に考え、自律的に判断し生活することができる
○伝える力を育成する ⇒ 相手の言葉や各種情報を正しく聞き・読み、自分の考えをわかりやすく相手に伝えるための「もの」を提示して表現することができる	⇒ 「主体的・対話的で深い学び」を実現できる授業づくりを推進する ⇒ ICTを活用し分かりやすい授業を展開する	○規範意識や人権意識が高い生徒 ⇒ 自他の心身の健康に気を配り、他人を思いやることのできる ⇒ 感性を豊かに働かせながら、思いやりや考えを表現することができる
○協働力を育成する ⇒ 他者の価値観を尊重しつつ他者と協働し、ねばり強くことを成し遂げることができる	○これからの社会を生き抜く人材育成のための産業教育を推進する ⇒ 人材育成に関し、企業・地域・高等教育機関等と連携する	○ものづくりに高い志を持ち、自己を高め、社会に貢献しようとする生徒 ⇒ 専門的な技術・技能の習得に継続的に努力できる
○行動力を育成する ⇒ 自分の掲げる目標を達成するために主体的かつ計画的に実行することができる	⇒ 検定や資格取得指導を推進する ⇒ 技能連携制度や実務代替などを積極的に進める	⇒ 国家資格等の取得に積極的にチャレンジできる
○職業人倫理観を高める ⇒ 職業的・社会的な秩序や規律に対して適切に対応していくことができる	○活力に溢れ魅力ある学校教育を推進する ⇒ 学校の部活動に係る活動方針に沿って活動する	
○基礎学力を高める ⇒ 義務教育段階の学習内容を含めた高校生に求められる基礎学力を習得することができる	⇒ 進路ガイダンスやインターンシップによる職業体験を充実させて職業観や勤労観を育む教育を推進する ⇒ 学校行事の精選と効率化を図る	

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 安全・防災教育を充実し、安心安全な学校づくりを推進する。
- イ 規範意識や人権意識等の醸成を通して、思いやりのある豊かな心を育む。
- ウ 基本的な生活習慣の確立により、明るく豊かな生活を営む態度を育成する。
- エ 基本的な学習内容の定着を通して、生徒の個々の進路希望を実現する。
- オ 地域社会に根ざした産業教育を関係機関と連携して推進する。
- カ 業務を明確化させることにより業務改善を推進し、持続可能な学校運営体制を構築する。
- キ 公費の適正かつ効果的な執行に努め、生徒の学習環境を改善・充実する。

様式第1号

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	安心安全な学校づくりの推進。	・交通安全教室、グッドマナー講習会の実施。 ・登下校指導の実施。	・交通安全に気を付けていると答える生徒 90%以上 ・重大な交通事故件数ゼロ	生徒指導 工業科
		・防災意識の高揚と命を守る教育の推進。 ・校内防災訓練の円滑な実施。	・防災意識を高め安全について自主的に考え行動できる生徒が 90%以上	
		・学校管理下における安全教育の推進。	・工業実習での重大な事故件数ゼロ	
イ	規範意識や人権意識等の醸成。	・多様な生徒に対応した指導計画を作成し、組織的な指導を実践できる体制の確立。	・信頼できる先生がいると答える生徒が 80%以上	教務 生徒指導
		・生徒の自尊心を高める教育活動の推進。 ・生徒の希望に即した部活動の充実。 ・学校行事の精選と安全な実施。 ・他者を思いやる心の育成。	・本校に入学して良かったと答える生徒が 80%以上 ・学校生活に満足していると答える生徒が 80%以上 ・挨拶ができる生徒 100% ・生徒全員が卒業、進級を目指す。 ・他人に対して思いやりを持って行動していると答える生徒が 80%以上	
ウ	基本的な生活習慣の確立。	・生徒の成長を促す生活指導、生徒観察と声掛けの推進。 ・落ち着いた授業環境の醸成。	・時と場に応じた行動をとるように気を付けていると答える生徒が 80%以上	教務 生徒指導
		・体育的活動の充実	・新体力テスト優秀校以上（10年連続を目指す）	
エ	学習内容の定着による進路希望の実現。	・多様な生徒に寄り添った、個々に応じた指導の充実。 ・I C T機器を活用した授業の推進。 ・授業と評価の一体化した授業改善のための研修と実践。 ・困難を抱える児童生徒等への教育・福祉が連携した学びの支援	・多様な生徒に対する指導法を研究・実践する教職員 100% ・I C Tを効果的に活用して「理解が進む」「楽しい」「活力のある」授業を実践する教職員 100% ・生徒の授業満足度 80% ・「授業が理解できた」と答える生徒 90%	教務 進路指導

様式第 1 号

		・卒業までの進路指導計画に基づいたキャリア教育の推進と充実。 ・外部人材を活用した職業観や就業意識の育成。	・外部人材の活用（3回以上） ・進路決定率 100% ・3年次終了までに進路が明確になっている生徒 80%以上	
オ	地域社会に根ざした産業教育の推進。	・生徒が自身の能力を肯定的に捉える機会となる学習活動の発表の機会の充実。 ・生徒会主催の自発的な地域社会との連携の推進。	・生徒研究発表会、作品展示会を実施し、保護者や地域の方々に開放する。 ・生活体験発表会に生徒が参加し、自分の考えを伝えることができる。 ・生徒会主催による地域と連携したボランティア事業へ参加する生徒が 80%	工業科 生徒指導
カ	業務改善の推進による持続可能な学校運営体制の構築。	・学習・校務を可視化・連携させるシステム（LMS）を活用した働き方改革の推進。	・各分掌で業務の見える化による改善に取り組む職員 100%	教務
		・校務効率化に向けた「スクールDX」推進とサポート体制の充実 ・分掌内での業務の精選と改善。	・ICT活用により「スクールDX」を推進する教職員が 100%	
キ	教育予算の適正で効果的な執行による、学習環境の改善と充実。	・教育ニーズに応じた予算執行	・教育用備品等への整備・充実	事務
		・学校保健委員会等による要改善箇所の洗い出しと改善	・要改善箇所の低減	工業科